

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

*印の教員は、2028年3月31日付けで定年退職予定または、2027年度研究指導は行わない者。
 **印の教員は、主任指導教員として志望できない者。
 2027年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

(所属専攻)	☎ 03-5978- (下記☎参照)	
(所属コース)		
担当教員	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野
(職名) : (氏名) ☎ 03-5978- (連絡先番号)	(博士前期課程における主な授業科目)	(研究テーマ、研究分野) (連絡先メールアドレス)

2026年6月1日現在

ライフサイエンス専攻 Life Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)
生命科学コース Biological Sciences		
担当教員	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野
Position Name		
教授 : UEMURA Tomohiro ☎ (5713)	植物細胞生物学	【植物オルガネラの動態と生理機能の研究】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp
教授 : KIYOMOTO Masato ☎ 0470-29-0838	海洋生物学特論	【海産動物の発生生物学、形態形成と細胞分化】棘皮動物を材料に、初期発生における細胞の分化や形態形成のメカニズムを明らかにする。具体的には、ウニ胚の骨片形成細胞の分化における誘導因子や細胞間の相互作用について、培養系を使って研究している。 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp
教授 : SHIMADA Satoshi ☎ (5356)	植物系統進化学	【多様性生物学】どのような生物種がどれほどこの地球上に存在しているのか？そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか？という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp
教授 : HATTA Masayuki ☎ (5579)	進化発生学特論	【サンゴを中心とした動物進化と生活史の研究】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
教授 : YURA Kei ☎ (5514)	生命情報学特論	【ゲノム・プロテオームの計算生物学研究】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、コオロギなどの昆虫がどのように進化してきたのかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
准教授 : IWASAKI Takaya ☎ (2604)	植物保全生態学	【陸上植物の多様性生物学・保全生態学】野生植物の多様性を形成した進化史、そして現在の多様性を維持している生態メカニズムの解明を目的として、様々な野生植物を用いた研究を進めている。特に生物の分布に着目した生物地理学をベースに研究を展開している。 e-mail: iwasaki.takaya@ocha.ac.jp
准教授 : KONDO Rumi ☎ (5372)	集団遺伝学	【ショウジョウバエを用いた進化・多様性研究】生態や行動の多様性が生じるしくみを分子レベルで理解することを目的として、ショウジョウバエをモデル生物に用いて研究している。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp
准教授 : SATO Atsuko ☎ (5303)	進化発生学特論	【発生・進化における環境の影響】生物の発生が環境にどう変化し、どう進化するのか。大量データ解析と発生進化学的手法を用いて解明する。 e-mail: sato.atsuko@ocha.ac.jp
准教授 : SHIBA Kogiku	分子細胞生物学（動物）	【精子鞭毛や繊毛の運動調節に関する研究】 e-mail: shiba.kogiku@ocha.ac.jp
准教授 : ITO Yoko **	植物関連生理学	【植物オルガネラの形成・維持機構と膜交通の研究】 e-mail: ito.yoko@ocha.ac.jp
助教 : MONAI Hiromu ** ☎ (5303)	細胞生理学	【脳・神経組織の生理機能】脳が生きているとはどういうことか？生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			
食品栄養科学コース Food and Nutritional Sciences			
担当教員 Position Name	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野	
教授 : AKAMATSU Rie ☎(5680)	栄養教育学特論	【行動科学を用いた栄養教育】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp	
教授 : IIDA Kaoruko ☎(5474)	生活習慣病医学・疫学	【生活習慣病の栄養代謝機構】生体内における糖や脂質の代謝機構について生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp	
教授 : ICHI Ikuyo ☎(5750)	臨床栄養学特論	【脂質の栄養学的研究】脂質の代謝異常は生活習慣など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp	
教授 : SUDO Noriko ☎(5448)	公衆栄養学特論	【公衆栄養学】災害時の食生活支援のための体制整備に関する研究を行っている。 e-mail: sudo.noriko@ocha.ac.jp	
教授 : NITTA Yoko ☎(5760)	調理科学特論	【調理学、食品物性学、酵素学】食品物性や生理活性アミンについての研究を行なっている。 e-mail: nitta.yoko@ocha.ac.jp	
教授 : MORIMITSU Yasujiro ☎(5757)	食品機能学特論	【食品中の生理機能成分の化学構造と活性相関】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示しうる食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp	
准教授 : SATO Yoko ☎(5754)	フードサービスマネジメント特論	【加熱調理・大量調理に関する予測的研究】給食を生産する際の調理・保管過程における食品の物理的・化学的な変化を把握し、品質管理手法を提案するための研究を行なっている。 e-mail: sato.yoko@ocha.ac.jp	
准教授 : SHIMIZU Makoto ☎(5752)	栄養化学特論	【代謝、運動に関する分子栄養学研究】運動や老化、栄養などに関わる生体内分子や機能性食品成分に着目し、これらの機能や相互作用に関する研究を行っている。 e-mail: shimizu.makoto@ocha.ac.jp	
講師 : KOBAYASHI Masaki ☎(5943)	生体制御学特論	【生体内栄養代謝の分子機構】栄養環境や加齢・老化が身体に及ぼす影響に関して、主に動物や細胞を用いた研究を行っている。 e-mail: kobayashi.masaki2@ocha.ac.jp	
助教 : NODA Kyoko ☎(5753)	食品加工貯蔵学特論	【食品の加工貯蔵に関する化学】食品の加工、貯蔵中に起こる嗜好性、安全性に関わる変化について、化学的研究を行っている。 e-mail: noda.kyoko@ocha.ac.jp	
遺伝カウンセリングコース Genetic Counseling			
教授 : MIYAKE Hidehiko ☎(5587)	臨床遺伝学特論	【臨床遺伝学、周産期学、遺伝カウンセリング学】出生前診断を中心とした遺伝に関わる問題に対して、遺伝カウンセリングや教育、社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: miyake.hidehiko@ocha.ac.jp	
講師 : SASAKI Motoko ** ☎(5742)	遺伝カウンセリング学	【遺伝カウンセリング学、遺伝教育】遺伝カウンセリング全般に対する問題と、遺伝教育や社会啓発に関する研究を行っている。 e-mail: sasaki.motoko@ocha.ac.jp	